

■大友義鑑 武將。有力戦国大名の地歩築くも、側室の子を溺愛して嫡子義鎮派家臣を排除、恨みを買って殺害された。

おおともよしあき

・・・・・・1502＝ 豊後国府内で、大友義長の子に生まれる。

遣明使・・・・1511＝ 9歳：

・・・・・・1515＝13歳：病気がちだった父から家法を示され、実質的に家督を相続し、祖父親治の後見も受ける。同年、間隙をついて反乱を起した朽網親満を祖父が鎮圧して、基盤が固まる。

義興周防帰国1518＝16歳：\*父が死去して、名実とも大友家当主となり、

・・・・・・1520＝18歳：懸案だった弟重治の肥後入国問題の解決を図るべく、菊池武包の跡を継がせて、菊池義武とするが、逆に義鑑支配の攪乱を策謀、豊後領国内紛争の要因となる。

・・・・・・1522＝20歳：一族田原親述を筑後国守護代に任命する一方、一族大神親照を誅伐。

・・・・・・1524＝22歳：祖父も死去。將軍義晴の偏諱と官途を請い、義鑿と改め、修理大夫となる。

・・・・・・1525＝23歳：秋月種時を討つ一方、大内義興に援兵を送って尼子経久の属城を攻撃、

以後管領不在1526＝24歳：安芸府中城を落とす。菊池義武らと通じて府内を攻略しようとした佐伯惟治を誅伐。

大内義興没・1528＝26歳：大内義興が死去すると、再び大内氏との和睦も破綻、

・・・・・・1529＝27歳：

遣明船復活・1530＝28歳：\_嫡子義鎮が誕生。

天王寺合戦・1531＝29歳：

大和一向一揆1532＝30歳：\_大内義隆との合戦が始まる。

・・・・・・1533＝31歳：大内氏を牽制するためか、わずか3つの義鎮を豊前国守護に任命、

・・・・・・1534＝32歳：義隆との間で最大となる大牟礼山合戦。

銀輸出始・・・・1538＝36歳：\*將軍足利義晴の和平勅告もあって、和議が成立、大内氏との対立が小康状態となる。

・・・・・・1540＝38歳：幕府から宮廷修理や足利義教百年忌仏事の経費献納を命じられ、勅命で東大寺大仏殿修理費を寄進して、

\_すぐれた家臣団を擁して

鉄砲伝来・・・・1543＝41歳：肥後国守護に補任され、\*豊後・筑後・肥後の三国に及ぶ領国を得るが、

勘合船終・・・・1547＝45歳：

ザビエル来日1549＝47歳：

大内布教許可1550＝48歳：\*義鎮を廃嫡し側室の子に家督を継がせようとして、義鎮派家臣に斬られ、「義鑑条々」の遺言を義鎮に与えて、没した。(二階崩れの変)